

令和5年度 第3回 くまもとサイエンスカフェ

# 熊本の活断層調査で わかったこと

参加  
無料



10/1(日)  
13:00-14:30

熊本県防災センター 1階会議室  
(熊本県庁行政棟新館 北側)

共催：熊本大学・熊本県・熊本地方気象台・  
国土交通省阿蘇砂防事務所

協力：東北大学災害科学国際研究所  
対象：どなたでも

話題提供

遠田晋次

(東北大学災害科学国際研究所)

活断層は「活着している断層」と書きますが、普段はもちろん静止しています。この「静物」としての断層から、我々研究者はダイナミックな地震の予測に挑んできました。しかし、日本列島で断層が地表に現れる大地震は10年に1回程度です。そのため、熊本地震・布田川断層から得られる科学的な教訓・知見はきわめて貴重です。地震後には多くの研究機関が断層掘削調査を行いました。その結果、布田川断層の活動間隔は2,000~3,000年で、最後の活動が約2,000年前の弥生時代であったことがわかりました。布田川断層は、平成28年時点でほぼ「満期」だったこととなります。本講演では、気になる日奈久断層との関係や今後の地震活動など、その他の知見もあわせて紹介します。



## くまもとサイエンスカフェとは？

お茶を飲みながらゆったりとした対話形式で、熊本の自然や歴史を学び、得られた知見を暮らしや防災・減災に役立て頂くことを目的とした取り組みです。



## お申込み・お問い合わせ先

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター  
減災型社会システム部門

下記 Web ページか下の二次元コードからお申込み下さい。  
<https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/disaster/>  
お電話の場合は 096-342-3489 (平日 9:00-16:00)  
締切り 9月29日 12:00 (ただし定員に達し次第締め切ります)

定員40名

お早めに！



熊大 減災センター



サイエンスカフェ年間スケジュールなど詳細はHPをご覧ください